

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公開番号】特開2014-239802(P2014-239802A)
 【公開日】平成26年12月25日(2014.12.25)
 【年通号数】公開・登録公報2014-071
 【出願番号】特願2013-123390(P2013-123390)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月2日(2016.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、複数の可動装置を備えた遊技機に関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来のパチンコ遊技機やスロットマシンにおいては、始動条件の成立により複数の識別情報を変動表示するゲームを実行し、停止条件の成立により停止させたゲームの結果に基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させるなどの特典を付与するものが一般的である。例えば、パチンコ遊技機では、遊技盤に形成される遊技領域に設けた始動口への遊技球の入賞に基づき、センターケースの窓部に表示部を臨ませた表示装置で変動表示ゲームを実行し、該変動表示ゲームが特別結果となると、センターケースに設けた変動入賞装置を閉状態から開状態に変換するよう構成されたものが知られている。また、遊技領域に設けた普図始動ゲートへの遊技球の入賞に基づき普図変動表示ゲームを実行し、該普図変動表示ゲームが特別結果となると、遊技領域に設けた変動入賞装置を閉状態から開状態に変換するよう構成されたものもある。

このようなパチンコ遊技機の変動入賞装置は、遊技領域に臨んで入賞口を開閉変換することが可能な可動部材（羽根部材、扉部材等）と、遊技盤の裏面側に臨んで可動部材を開閉変換するための駆動力を発生させる電氣的駆動源（モータやソレノイド等）とを少なくとも備えており、該電氣的駆動源に電力を供給（励磁）することで可動部材が閉状態から開状態に変換するように設定されている。また、遊技盤の裏面側には、所定の演出動作を行うことが可能な可動演出部材を備えた可動演出装置を配設し、変動表示ゲームの進行に応じて可動演出部材を表示装置の前方で演出動作させることで遊技の興趣を高めるように構成したものもある（例えば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2012-005579号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、上記特許文献1のように、変動入賞装置の電氣的駆動源が遊技盤の裏面側に臨む場合には、表示装置や可動演出装置等が密集する遊技盤の裏面側に電氣的駆動源から発生した熱気が籠り易いという問題がある。そのため、遊技者に有利な特定遊技状態（大当たり状態や普電サポート状態等）が発生して変動入賞装置が頻繁に動作するようになると、電氣的駆動源が異常に発熱することで故障したり、動作不良が発生したりするという問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、上記の事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、可動装置の駆動源の発熱による故障や動作不良を回避することができる遊技機を提供しようとするものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記目的を達成するために提案されたものであり、請求項1に記載のものは、第1可動装置と第2可動装置とを備えた遊技機において、

当該遊技機の遊技状態には、遊技の進行に応じて第1遊技状態と第2遊技状態とがあり

、前記第1可動装置は、第1可動部材と、該第1可動部材を駆動するための第1駆動源とを備え、

前記第2可動装置は、第2可動部材を備え、

前記第1駆動源は、当該遊技機に設けられた配設空間部に配設され、

前記第2可動部材は、当該遊技機に設けられた作動空間部において作動し、

前記第2可動部材の作動により前記作動空間部内の空気と前記配設空間部内の空気とが攪拌され得るように構成し、

前記第1遊技状態と前記第2遊技状態とでは、前記第2可動装置の作動頻度が異なることを特徴とする遊技機である。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正14】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正15】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正16】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正17】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0017
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本発明によれば、駆動源の発熱による故障や動作不良を回避することが可能となる。

【手続補正25】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1可動装置と第2可動装置とを備えた遊技機において、

当該遊技機の遊技状態には、遊技の進行に応じて第1遊技状態と第2遊技状態とがあり

、

前記第1可動装置は、第1可動部材と、該第1可動部材を駆動するための第1駆動源と

、

を備え、

前記第2可動装置は、第2可動部材を備え、

前記第1駆動源は、当該遊技機に設けられた配設空間部に配設され、

前記第 2 可動部材は、当該遊技機に設けられた作動空間部において作動し、

前記第 2 可動部材の作動により前記作動空間部内の空気と前記配設空間部内の空気とが
攪拌され得るように構成し、

前記第 1 遊技状態と前記第 2 遊技状態とでは、前記第 2 可動装置の作動頻度が異なるこ
とを特徴とする遊技機。